2015～2016 Vol.XXXIX SAGAMIHARA NAKA WEEKLY

Rotary 会報

第 1861 回例会

4 月 26 日 №38

世界へのプレゼントになろう

相模原中ロータリークラブ

会　長　豊岡　淳　　幹　事　宸住　悦子

●友好クラブ
韓国・龍仁ロータリークラブ
国際ロータリー第 3600 地区
●姉妹クラブ
千曲川ロータリークラブ
国際ロータリー第 2600 地区
●提唱インターアクトクラブ
光明学園相模原高等学校
インターアクトクラブ

「地区研修協議会の報告」(以下、要約にて掲載)

○会長部門－櫻内　康裕

日時：2016 年 4 月 17 日（日）12:30～
会場：相模女子大学キャンパスにて
ホストクラブ：座間 RC、大和中 RC（共同）

12:30 点鐘にて始まり、田中ガバナー、佐野ガバナーエレクト、そして会場をお借りした相模女子大学の速水理事が挨拶されました。

田中ガバナーと佐野ガバナーエレクトは、共にプロジェクターでの話を用意していたそうですが、その設備が無く、残念がっていました。

佐野ガバナーエレクトの話は先日の PETS での内容と同じでしたので、省略させて頂きます。会長部門会では、田中ガバナーと佐野ガバナーの基調講演が行われましたが、先程の挨拶での話と同じでありました。

＜主な内容＞

・会員増強、女性会員の増加。
・新会員が 3 年以内で辞めてしまうことが多い。
・新会員セミナーを開催するなどして、退会を阻止して頂きたい。
・公共イメージではポリオ撲滅を、発症例はパキスタンで 2 名のみ。目標額 1 人 40 ドル。
・ロータリーデーは毎年 2 月 13 日で、時期も寒く活動しにくいとのことで、10 月頃に行う。
・ロータリー財団は 100 周年でもあり、寄付は 1 人 200 ドル。米山奨学会は 1 人 2 万円。

・マイロータリーに登録をして頂きたい。
締切は5月1日。クラブセントラルもあるので、会長・幹事は必須
大谷ガバナーノミニー（サブリーダー）からは「地区とクラブの繋がり」と題し、話が行われた。
部門会終了後、全体会議Ⅱで表彰や感謝が述べられ、次期ホストクラブ（小田原北RC）の紹介があり、閉会となりました。

○幹事部門－早川　正彦

前半と後半に分けて行われ、前半の「マイロータリーの登録」については、半数以上が登録していないということでした。手続要覧も半数以上が持っていないということですが、会長・幹事は必携だと言われました。
また今月4月10～15日に開催された「規定審議会」でいくつか制定案が採択されたそうです。
例会は月2回以上、入会金の廃止、出席免除の規定変更、委員会設置数などですが、詳細は良く判りませんでした。
後半はRI分担金や､RI会長賞の話などがあり、現在、5月に実施している「幹事・事務局研修会」をPETSの前に実施するなど提案がありました。

○クラブ奉仕部門－荻住　悦子

部門会では、リーダーの竹内PGの講話「クラブ奉仕に思う」の後、出席率向上策や親睦、新入会員への教育などについて、アンケートを基に各クラブから話を聞くという段取りで、部会が進められました。
講話ではクラブ奉仕が5大奉仕の第一であること。最近は社会奉仕が優先され、設立時の職業倫理を磨き事業の発想を交換し合いながら、自己研鑽を行うという例会の重要性が軽視されていること。ロータリーの理念は変わってはいけないが、・奉仕活動の実践　・クラブの管理運営については、時代や地域により変わっていくべきものであること。またロータリーの活動はクラブが主役であり、クラブが自主的にクラブ細則を制定・改正することができ、実態に沿って見直していくべきことなどが話されました。
アンケートでは、出席率向上について各クラブで会員同士が声を掛け合ったり、メイクのできるイベントを開催するなど工夫をされているようですが、なかなか出席率向上に繋がらないという声もありました。
親睦は家族例会や同好会などの例が多く、新入会員の教育については例会の前後で勉強会を行ったり、既存会員1人が新入会員1人に対して付くなどの例がありました。他にスマイルや卓話について各クラブの発表があり、時間が足りなくなるほどでした。

○青少年奉仕部門－豊岡　淳

青少年奉仕とは大きく言って「インターアクト」「ローターアクト」「青少年交換プログラム」があります。
まず「インターアクト」ですが、高校でのボランティアを主体とした部活動と捉えると良いと思います。当クラブでは光明学園相模原高校を提唱クラブとしており、2780地区では12校、14クラブが提唱しています。ですから、どのクラブもインターアクトを提唱しているものではありません。
インターアクトは現在活発で地区内のメンバーは200名程いるそうです。毎年、増加傾向にあり、これも震災以降にボランティア・奉仕活動が改めて若い方達から認められているのかもしれません。
「ローターアクト」は、年齢は18～30歳です。地区では4クラブ（鎌倉・横須賀・相模原・小田原城北RC）が提唱しておりますが、インターアクトに比べると、ローターアクトは衰退していて、メンバーは40名程。相模原でも4名しかいないそうです。一部では、ローターアクトを無くしてしまえとの過激な意見もあるそうです。
「青少年交換プログラム」ですが、日本では今年度、25カ国125名の交換留学生が派遣されています。このプログラムは語学研修だけでなく、派遣先の文化や習慣・伝統・歴史に触れると同時に、日本の文化や習慣・伝統を広め、相互理解を図り、世界平和への貢献を目的としております。
ルールとしては留学期間11ヶ月以上1年未満を高校生として相手地区の高校に通学できる事。4Dルール（No ドライビング・ドリンキング・デートイング・ドラッグ）を理解していること。↗

費用負担は、地区からホストクラブに対し毎年2回、45万（計90万）円の助成金を支給されますが、生活その他学費等、必要経費は90万円では足りないので、ホストクラブの負担を軽減する目的で、各グループが人頭分担で支援金を捻出しています。これは当クラブも協力しています。

また、この交換留学生の件では過去に虐待やハラスメント等で、パストガバナーが禁固刑で服役したり、数千万円の賠償金を支払ったことがあったそうで、そこからRIでは「危機管理」の重要性がかなり厳しくなっているとの事でした。

地区青少年奉仕委員長も話されていましたが、この委員会は外部の方々と一緒に活動するので、メンバーが毎年変わるのは、如何なものかと言っており、私も同様に感じます。3年周期ぐらいでの交代が良いのではないかと思います。

○社会奉仕・国際奉仕部門－黛　裕治

全員参加型の奉仕事業が大切なので、身の丈にあった活動で、ロータリーの友にも投稿するようにとのことでした。

また国際奉仕は1つのクラブだけでは難しいので、NPO法人を活用すると、事業計画や実行も協力してくれるそうです。ホームページなどで検索すれば、いろいろな団体が掲載されているので、有意義な活動ができるとのことです。

各クラブの事例発表では・アユの放流　・ミャンマーのマイクロクレジット　・心肺蘇生法などの発表がありました。

○新会員部門－大井　達

部門会では4名の講師のお話があり、ロータリークラブと、ライオンズクラブの違いなどの話もありました。意外に思ったのは、ロータリーの知名度が低いということで、私の場合は先代の社長がロータリアンでしたので、身近にありました。

判りやすい内容で、一番大切なのは例会出席ということですので、一生懸命に出席に努めます。

○新会員部門－阪西　貴子

今回は大変有意義なプログラムで、ロータリーの歴史なども判りやすく話して下さいました。

またロータリーでは寄付と良く言われるが、義務ですかとの質問に、奉仕の形にはいろいろあるが、ロータリーは世界最大級の奉仕団体であり、そのプロジェクト資金を支えるために寄付をお願いしているということで、ポリオ撲滅も1人の力ではどうにもなりませんが、寄付をすることで、撲滅に貢献できるのは素晴らしいことだと思いました。

○新会員部門－藤本　恵介

内容は発表されたお二人と同じですが、ロータリアンの特権という内容が一番印象に残りました。特権とチャンスを活かしましょうという話でした。

○新会員部門－大坪　征弘

「ロータリーの友」の歴史についてお話し頂き、名前の由来は、“主婦の友”からとったことや、1952年に日本が2つの地区に分割されることになり、連絡を緊密にするため、共通の雑誌として創刊されたということでした。

ロータリーの友は電子版もあるので、そちらもぜひご覧下さいとのことです。

○ロータリー財団部門－菊地　啓之（原稿より）

佐野ガバナーエレクトより、本年度は財団100周年を記念した寄付目標の発表がありました。

財団100周年を記念し、全クラブが過去5年間で寄付額を最高に達するよう努力する。

・年次寄付－1人当り200ドル以上達成。全会員が寄付０なしを目標。
・ポリオプラス寄付－１人当り40ドル以上。
・恒久基金－ベネファクター1クラブ1,000ドル以上。
・大口寄付－地区から2名以上。
・メジャードナー－累計10,000ドル以上、5名。
・ポールハリスソサエティー毎年1,000ドル以上を誓約。5名以上を目標。

＜菅原光志リーダーの話＞

地区補助金申請が今年度は一般応募（補助金50万円以下）の申請条件が大幅に簡略化されたことと3月15日締切により、23クラブが申請。

＜次ページへ＞

人道的奉仕が少しでも入っていれば、クラブの継続事業でも３年に１回申請しても良い。

＜ロータリー財団の意義 久保田サブリーダー＞

１人 200 ドルは目標であって、全会員が少額でも良いので寄付する習慣をつけて頂き、お金がどのように使われているか興味を持って貰いたい。財団事業や寄付金動向、収支を知って頂きたい。次年度は寄付０会員を無くす運動をしていく。

＜補助金の配分と推進　藤村サブリーダー＞

地区活動資金の二種類の補助金について。

1)グローバル補助金：開発途上国に対する国際的な人道的支援。

2)地区補助金：規模の小さい短期的な活動が対象。

＜資金管理について　三宅サブリーダー＞

・地区補助金　通帳コピー、領収書の提出

一般応募（50 万円以下）説明会に１名の出席

特別応募（50 万円以上）説明会に３名の出席

＜3 つのロータリー奨学金　田所サブリーダー＞

1)ロータリー平和フェローシップ：平和センターで学ぶための奨学金。人材の育成が目的。

2)ロータリー奨学金（VTT）：6 つの重点分野に絞った大学院レベルでの職業人の為の奨学金。

3)ロータリー親善奨学金：自己の向上に向け、海外の大学院で学ぶための奨学金。

○研修リーダー部門－瀬戸　裕昭（原稿より）

この部門は、事前にアンケート提出を求められており、下記のような内容でした。

＊「クラブ研修委員会」が設置されているか？

＊研修リーダーが任命されているか？

＊「クラブ研修委員会」は、どの様な活動をしているか？

＊新会員に対して、セミナー及びオリエンテーションを行っているか？

＊クラブとして「戦略計画」又は「長期計画」を立案しているか？

出だしはともかく、中盤・終盤は記入に困り、記憶も知識も追いついてない自分に驚きさえ感じ、仕方なく「ありのまま」を答えました。

当日の分科会はリーダーに相澤ＰＧ、サブリーダーに茅ヶ崎湘南 RC の脇氏、秦野 RC の升水（ますみず）氏、相模原 RC の杉岡氏で、テーマは「クラブ活性化とクラブ研修」で、最初に脇サブリーダーが「クラブでの研修のあり方」として、自身のクラブを例に話されました。研修委員会として年３回の卓話や１泊研修会や夜間例会を実施されているようで、しっかりしたテーマで卓話やディスカッションをされているのにはビックリでした。

次に「アンケート集計結果報告」があり、結果は思っていたほどショックは受けず、他クラブもそこそこ苦慮されているといった感じでした。

セミナー等を行っていない理由としては、

＊会員増強でいっぱいで余裕がない。

＊地区で新会員研修を行っている為、同じ内容になってしまうから…。

＊行おうと思っているが実行できない…。

次に杉岡サブリーダーより「クラブにおける戦略」というテーマで話されました。DLP から CLP、今はクラブ研修リーダーの推奨など、正直、何の事か判りませんでした。

＜戦略的優先項目＞

1.クラブサポートと強化

2.人道的奉仕の重点化と増加

3.公共イメージと認知度の向上

この項目を軸としてクラブの「戦略計画」を立てていますか？との問いかけがあり、「3～5 年先のビジョンを持ちましょう」という事です。

会長の時間

先日、相模原消防局に寄贈しました懸垂幕ですが、消防署に既に掲げられています。お時間がありましたら、是非ともご覧ください。実際に掲げられている姿を見ますと、良い物が出来たと自画自賛する次第でございます。

さて、これを含めました「消防団員発掘プロジェクト」ですが、地区への完了報告書を提出する時期となりました。「発掘」と言いながら、結果的に何名の方が新規に入団されたかと言いますと、麻布大学学園祭での奉仕活動終了後に入団された方は 15 名だそうです。

↗

因みに麻布大学の学生からは入団者はおりませんでした。入団された 15 名は我々の活動が有効であったかどうかは分かりませんが、何かしらのお手伝いが出来たのではないかと私は思います。

＜増強ショートスピーチ＞

甲斐　美利

私もロータリー歴が 20 数年になります。48 才で入会したので、その位の年代の方をと思っており、工業部会に 1 人候補者がいるのですが、なかなか良い返事がもらえません。

ロータリーも、一業種一人であった頃と比べて押しづらい面もありますが、工業部会には 800 社程あり、仕事の投資面から得るものが大きければ入会されると思います。

やはり、ただ親睦面だけでは難しく、デフレ社会でロータリーに入会して頂くには、戦略も必要かと思います。（概要にて掲載）

スマイルBOX

●豊岡会長、宝住幹事
①4 月入会記念日祝の横溝さん、阪西さん、おめでとうございます。
②次年度理事役員の皆様、地区研修協議会の報告よろしくお願いします。

●横溝　志華会員
①阪西会員、入会記念日おめでとうございます。
②私も入会して、もう 5 年になります。これからも宜しくお願い致します。

●阪西　貴子会員
本日は入会記念日祝、ありがとうございます。あっという間に一年が経ちました。ご迷惑もおかけしておりますが、今後とも宜しくお願い致します。

●江成　利夫会員
①入会記念日祝の横溝会員、阪西会員、おめでとうございます。
②地区協の報告を会長エレクト始め、宜しくお願いします。

●田後　隆二会員、池之上　和哉会員
①横溝さん、阪西さん、入会記念日祝おめでとうございます。
②地区研修協議会の報告をされる皆さん、宜しくお願いします。

●櫻内　康裕会員
①お祝の皆さん、おめでとうございます。
②地区研修協議会の報告がありますので、宜しくお願いします。

●金沢　邦光会員
地区協に行かれた皆さん、お疲れ様でした！

●小野　孝会員
①入会記念日祝の横溝さん、阪西さん、おめでとうございます。
②地区研修協議会の報告、宜しく。

●藤本　恵介会員
入会記念日祝の横溝会員、阪西会員、おめでとうございます。

●阿部　毅会員
①協議会出席の皆様、お疲れ様でした。本日の報告、よろしくお願いします。
②入会記念日祝を迎えられた横溝会員、阪西会員おめでとうございます。

●佐々木　敏尚会員
本日、入会記念日祝を受けられる横溝さん、阪西さん、おめでとうございます！

●中山　徹男会員
①入会記念日祝の皆様、おめでとうございます。
②今日は早退させて頂きます。皆さん、良いＧＷをお過ごし下さい。

●大井　達会員
①入会記念日祝の横溝さん、阪西さん、おめでとうございます。
②本日も例会を半分だけ出席で、早退させて頂きます。申し訳ありません。

本日のスマイル額　　１９，０００円
今年度の累計額　　９４２，２２４円

報告事項

１．第２７８０地区ガバナー事務所より

①クラブ幹事・事務局研修会のご案内

近年の IT 化による効率化により、混乱されている部分もあるかと存じますが、次年度の一環として導入されたロータリークラブ・セントラルの説明も含め、実務の参考になるべく企画しとおります。尚、今回は次年度幹事は義務出席者となりますが、事務局は希望者のみ（最近、事務局が交代など）と致します。

日時：5 月 21 日（土）13:00～16:00

場所：第一相澤ビル　登録締切：5 月 10 日

②国際大会参加・友愛の家ブースに関するご案内

・展示ポスターについて：地域を紹介するポスターがあれば、5 月 20 日までにガバナー事務所で受付します。（できれば英文版）

・配布パンフレット：地域をアピールするパンフレットがあれば、当日会場へ持参下さい。

・プロジェクト紹介ポスター：グローバル補助金を利用のクラブは、英文の説明文を入れたポスターを 5 月 20 日までにガバナー事務所にお願い致します。

例会プログラム

５月１０日卓話　佐々木　敏尚会員

定例理事役員会

１７日卓話　松尾　秋夫会員

２４日卓話　竹田　繁会員

※市行事の都合で当日は夜間例会にて

18:30 点鐘　「相模原市民会館」

出席報告

会　員	出席(出席対象 23 名)	事前メイク者
３３名	２４名	３名
欠席者	本日の出席率	修正出席率(4/12)
１名	９６．４３％	９３．１０％

＜４月入会記念日祝＞

・横溝　志華会員

2011 年４月　５日

・阪西　貴子会員

2015 年４月 21 日

例会記録

点　　鐘　　１２時３０分

場　　所　　相模原市民会館「あじさいの間」

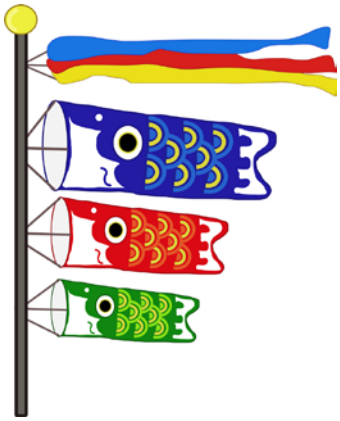
司　　会　　江成　利夫ＳＡＡ

斉　　唱　　ロータリーソング

「それでこそロータリー」

ソングリーダー　甲斐　美利会員

ビジター　　おりません



●事務局　〒252-0239　相模原市中央区中央 3-12-3
相模原商工会館３Ｆ
TEL 042-758-5750 FAX 042-758-1605
●例会場　相模原市民会館「あじさいの間」
〒252-0239 相模原市中央区中央 3-13-15
TEL 042-752-4710 FAX 042-753-2000
●E-mail: rotary@tbg.t-com.ne.jp
●例会日　毎週火曜日　12:30～13:30
●編　集（親睦活動委員会）
委員長　田後　隆二　副委員長　甲斐　美利
委 員　川合　貞義、永保　固紀、竹田　繁
中里　和男、菊地　啓之、丸子　勝基
小崎　直利、阪西　貴子、池之上和哉
●http://sagamihara-naka.sakura.ne.jp